

漁海況情報第11報 (2018年2月19日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

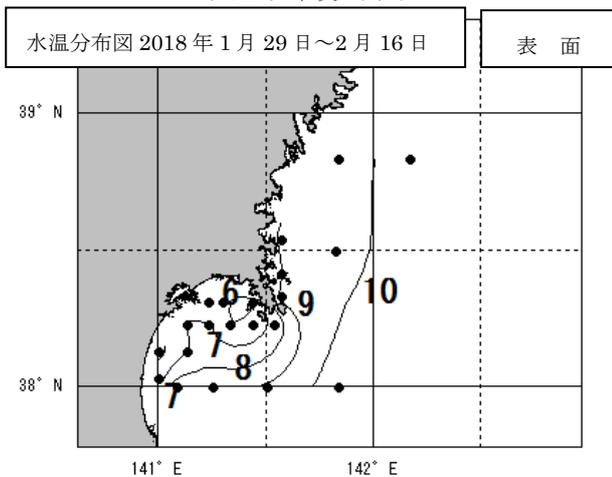
仙台湾内の水温は例年より1~2℃低めですが、沿岸では例年より高水温となっています。

宮城県沿岸の表面水温は5~10℃台、100m深水温は8~10℃台となっています。仙台湾内では例年より1~2℃低め、141° 30' 以東では表層で1~2℃、100m深で1~3℃高めとなっています。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。水温鉛直断面図からは、表層沖側に9~10℃台の暖かい水が存在していることがわかります。[P2.水温鉛直断面図]。

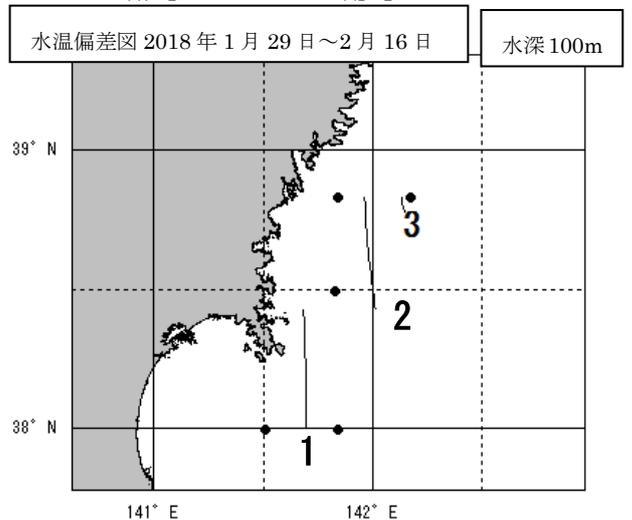
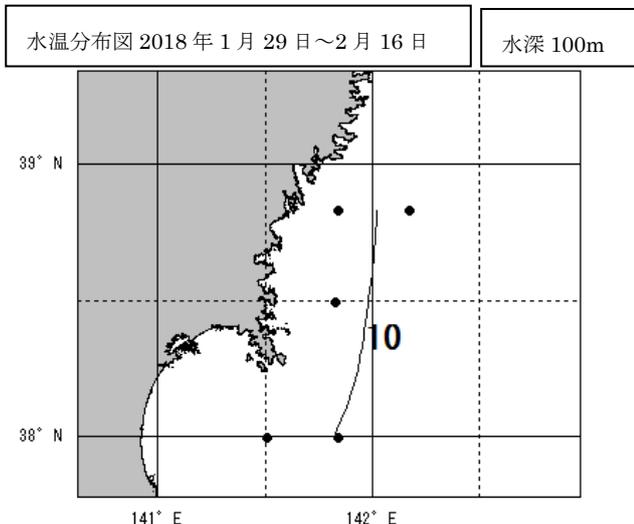
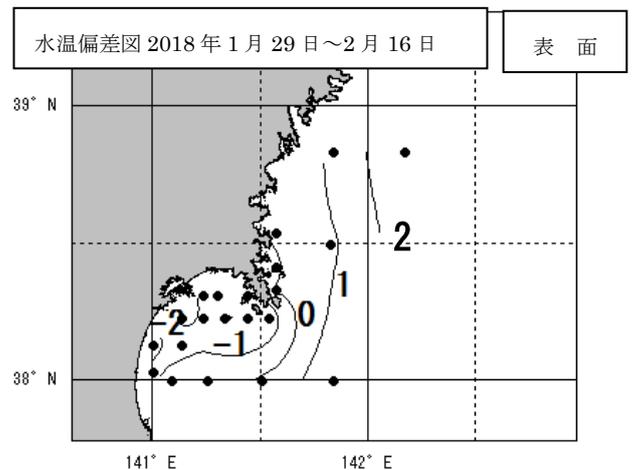
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第一分枝は宮古沖 30 海里で優勢な暖水塊に阻まれ停滞しており、142° E 以東では 10~14℃台の暖水が宮古沖 10 海里まで北上し親潮と潮境を形成しています。[P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

2月上旬の定地水温は4~9℃台となっています。田代島ではやや低め、歌津ではやや高め、その他測点では平年並みです。海底直上水温は8~9℃台です。[P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

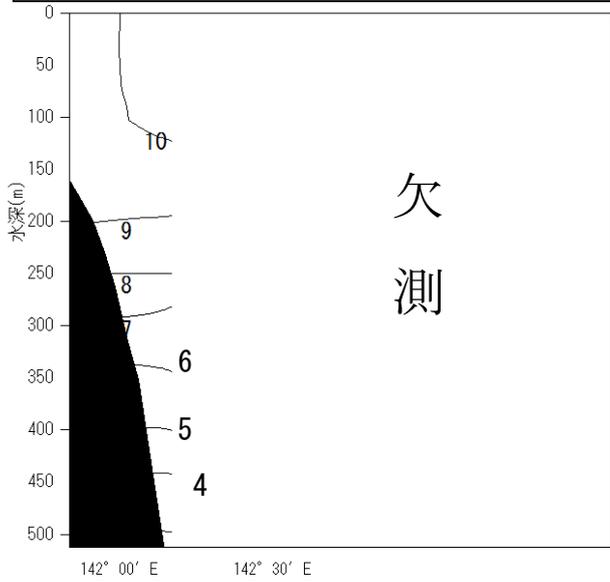


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)



・水温鉛直断面図

38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)

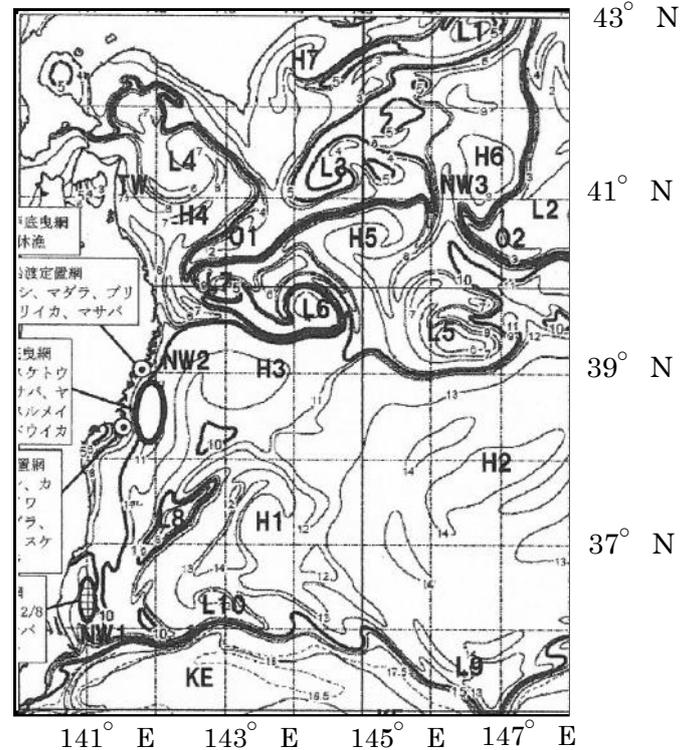


38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

欠測

2018年2月9日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

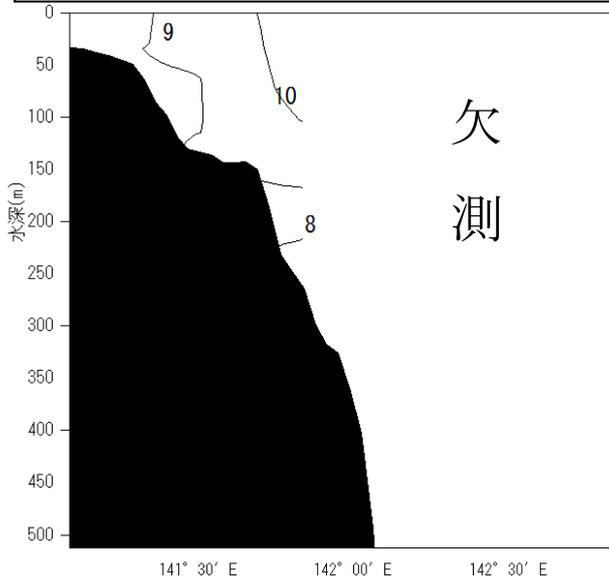
【海況】(2月8日表面水温)

- ・親潮第一分枝は宮古沖 30 海里で優勢な暖水塊に阻まれ停滞。
- ・下北～田老沿岸を 6～7℃台, 宮古～大津沿岸を 8～9℃台の混合水が南下。
- ・黒潮は房総沖を東進。
- ・鹿島灘～常磐沿岸を 10～12℃台の暖水が北上しているが勢力減少。
- ・茨城～岩手の沖合 142° 以東では 10～14℃台の暖水が宮古沖 10 海里まで北上し親潮と潮境を形成。
- ・常磐～九十九里沿岸は 10～13℃台です。

【漁況】(2月6～8日)

- ・1 そうまき網: 2/5 夜に鹿島～日立沖でマサバ主体に 7,917t を漁獲。水温低下に伴い 300g 以上が減少。
- ・定置網: 石巻と大船渡はマイワシ主体にマダラなどを水揚。石巻はカタクチイワシも水揚。
- ・イカ類: 釣はスルメイカとヤリイカ共に皆無。底曳網は石巻がスルメイカ 4t とヤリイカ 12t を水揚。
- ・秋サケ: ほぼ終漁。青森は前年を上回ったが, 岩手と宮城は前年を下回り、特に 11 月以降来遊する後期群が極めて低調。

38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



・定地海洋観測



	2月上旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	8.1	平年並み	0.5	0.1
歌津	8.6	やや高め	1.0	-0.2
江島	9.0	平年並み	0.4	-0.5
田代島	6.6	やや低め	-0.7	-1.0
佐須浜	6.3	平年並み	-0.3	-0.8
桂島	4.1	平年並み	-0.3	-0.8
亶理	6.3	平年並み	-0.5	-

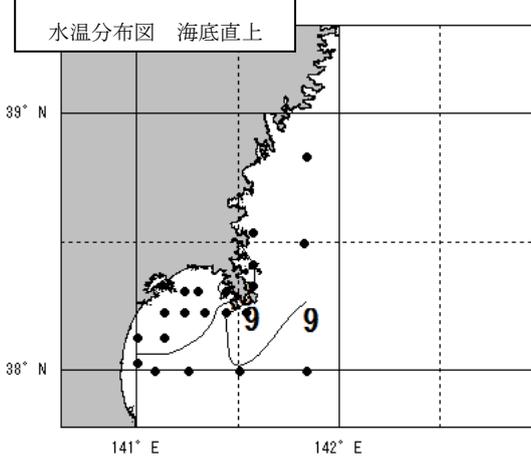
※平年値 岩井崎(過去30年)
 江島(過去30年)
 佐須浜(過去10年)
 歌津(平成28年12月から観測再開)
 桂島(平成24年3月から観測開始)
 亶理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

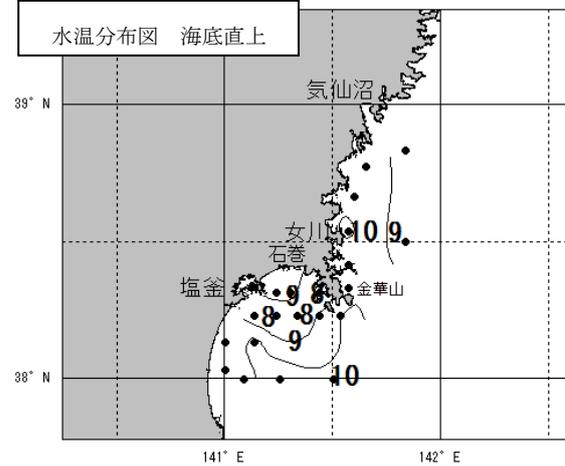
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2018年1月29日~2月16日)



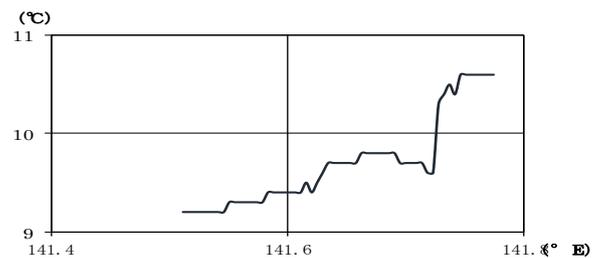
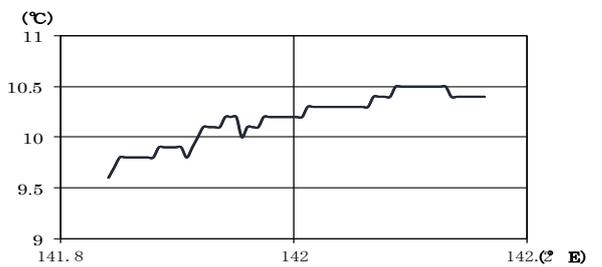
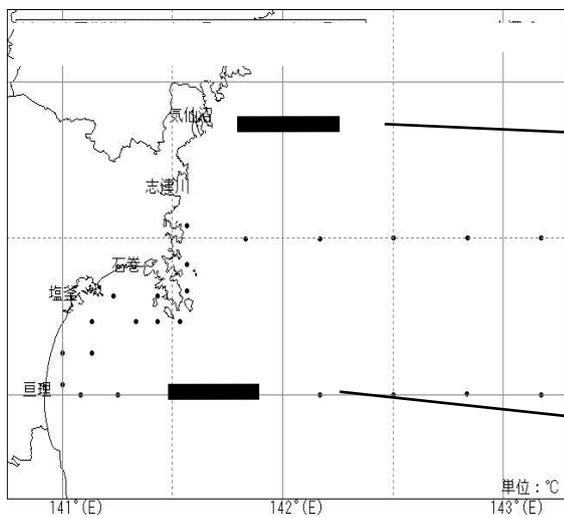
・海底直上水温(2017年2月)



(※観測水深は500mまでです)

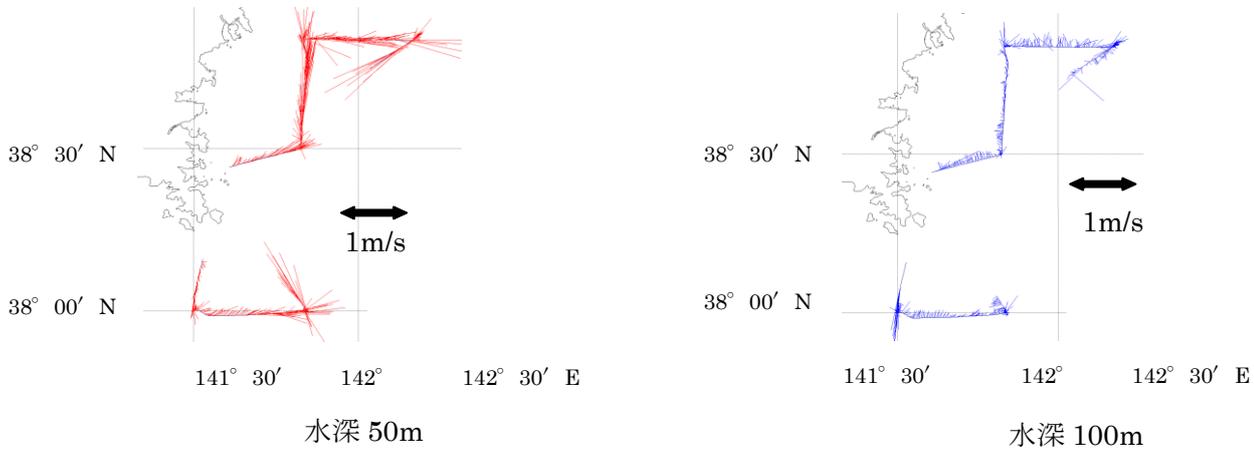
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。
 (°C)



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

前年と比較して、メバチ、サバ類、ブリ、ヤリイカ、スケトウダラなどが水揚げを伸ばしています。マイワシ、スルメイカ、マダラなどの水揚げは減少しています。

2017年1月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計(単位)	前年同月比
ビンナガ									194		25	219	104%
メバチ									123	0	5	127	554%
マイワシ		0	949		2569	0					14	3532	85%
サバ類	123	8	11293			84	8				4	11520	157%
ブリ	0	0	2		76	1	1				1	81	427%
マアジ	0	0	0			0	0				0	0	3%
スルメイカ	31	1	0			3		2			0	36	72%
ヤリイカ	253	28	1		44			12			1	338	141%
マダラ	425	21	0		63	118			1		104	731	74%
スケトウ	107	14	0		4	5			0		3	132	213%
ヒラメ	5	11	0			0	4				1	21	150%
マコガレイ	0	13				0	12				13	39	88%
マガレイ		3	0			0	3				1	6	74%
ババガレイ	6	1	0			0	1				2	9	107%
ガザミ		4					8				0	12	226%

5. 調査船運航計画

みやしお	
2月26~27日	沿岸定線調査
開洋	
2月26~27日	浅海定線調査